



東北大学



平成24年5月8日

報道関係者各位

国立大学法人 東北大学

東北大学 教授
最先端研究開発支援プログラム
「省エネルギー・スピントロニクス論理集積回路の研究開発」中心研究者
大野英男博士が IEEE David Sarnoff Award 2012 を受賞

東北大学電気通信研究所教授、省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター長、最先端研究開発支援プログラム「省エネルギー・スピントロニクス論理集積回路の研究開発」中心研究者の大野英男博士が、2012年のIEEE David Sarnoff Awardを受賞することになりました。同賞は、エレクトロニクス分野における世界で最も権威あるものです。

2012年5月7日からカナダ・バンクーバーで開催される国際学会「IEEE International Magnetic Conference」で行われる授賞式において、東北大学電気通信研究所教授、省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター長、最先端研究開発支援プログラム「省エネルギー・スピントロニクス論理集積回路の研究開発」中心研究者として研究開発を指揮する大野英男博士が2012年のIEEE David Sarnoff Awardを受賞することになりました。電気・電子分野における世界最大の学会であるIEEE (Institute of Electrical and Electronic Engineers) のエレクトロニクス部門において、半導体エレクトロニクスと磁性・スピントロニクスの融合に対する独創的な貢献とリーダーシップが認められたものです。

「IEEE David Sarnoff 賞」は、アメリカにラジオやカラーテレビを普及させたDavid Sarnoffの功績を記念して1959年にIEEEとRCA (Radio Corp. of America)社の合意により創設され、エレクトロニクス分野に対して卓越した業績、独創性、最近5年間の多大な影響力が認められた研究者へ認定書・メダルなどが贈られます。これまで、レーザー・レーザの発見者Charles H. Townes博士、集積回路の発明者Jack S. Kilby博士などの著名な研究者が受賞しており、その後ノーベル物理学賞を受賞しています。今回の大野博士の受賞は、日本人として荒川泰彦東京大学教授(2009年)に次いで7人目の受賞になります。

IEEE 技術部門の表彰者紹介のウェブページ：

http://www.ieee.org/documents/sarnoff_rl.pdf

問い合わせ先

電気通信研究所附属ナノ・スピン実験施設 半導体スピントロニクス研究室

(助教) 山ノ内路彦 TEL: 022-217-5553

省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター

(教授) 笠井直記 TEL: 022-217-6115

補足

スピントロニクス: これまで、エレクトロニクスは、電子の持つ電荷とスピンという二つの性質のうち、電荷の性質を用いたトランジスタなど半導体デバイス、及びスピンを利用した磁気ディスクなどの磁気デバイスが車の両輪のように発展してきました。しかし、将来さらなる発展のためには電子の電荷とスピン双方の性質を利用した新しい技術、スピントロニクス技術の進展が期待されています。スピントロニクス技術は、将来の半導体集積回路の低消費電力化に対応したブレークスルー技術として、待機時電力ゼロのエレクトロニクス機器実現に向けた基礎技術として期待されています。